にこにこ通信

第百号　平成十五年七月二十日

〒九三一〇八〇四　高岡市問屋町四十
有限会社　沖商店発
（にこにこ）
TEL　〇七六六一二五一二五一五
FAX　〇七六六一二六一五五〇〇
E-mail　okashoten@poem.ocn.ne.jp

いつもお世話になりありがとうございます。

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょうか』そんな人生の根本問題を皆様と一緒に考えたいと思い、皆様の心に一石を投じて、意見を頂く機会になることを願って本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚の無いご意見をお寄せくださいます様お願い申し上げます。

一　にこにこ通信愛読者に感謝いたします

にこにこ通信も本号で発刊百号となりました。

「百号になったら記念して一杯奢ろう」と言ってくれた友人がいました。歌の文句じゃありませんが「これでまた一杯呑めるぞ」

冗談はさておき、出来の良し悪しは別にして、月に一回、百ヶ月、自分でもよく続いたものと思っています。これまで、『にこにこ通信』に対するいろんな質問がありましたし、それにお答えする意味も込めて、本号は発刊百号を記念して『にこにこ通信』についての特集とさせていただきます。

名前の由来

私どもの会社の電話番号は25-2525です。電話番号をお伝えする時「私どもの会社の電話番号は、にーごーのにーごーにーごー、『にっこりにこにこ沖商店』と覚えて下さい」と言いましたら一度で覚えていただけます。その「にこにこ」を採って『にこにこ通信』と名付けました。

発刊の動機

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょうか』そんな人生の根本問題を皆様と一緒に考えたいと思い、皆様の心に一石を投じて、意見を頂く機会になることを願って本通信をお届けしている次第です。

冒頭に掲げたこの言葉そのものです。

第一号にも記しましたが、始める二～三年前から、漠然とそのような「思い」があったように思います。

啓発されたのは、私どもの仕入先、二社からです。一社は女子事務服メーカー「㈱セロリー」から発刊の『セロリー通信』。一社は女子作業服メーカー「㈱リミット」からの『リミットネットワーク』です。二者共、商売を通じて人の物の考え方を論じ相う内容です。総計五百部弱です。

発刊の功徳(効用)

その一、物事に対して注意深くなりました。

なにを見ても聞いても、にこにこ通信の記事のネタにならないかと云う意識がはたらき、身近な出来事に対して今までより関心を持って接するようになったと思います。

その二、文章表現力が進歩しました。

第一号からご愛読の方はよく分かると思いますが、最初のころのものは、今、読み返してみると、あまりにも拙くて自分でも恥ずかしくなります。にこにこ通信のネタ探しの中で、いろんな勝れた文章に接するうちに、私自身が少しずつ文章での表現の仕方がうまくなったように思います。

その三、ストレス解消

人は素晴らしい物事に接して感動し、不正(正義の基準も問題ですが)に接して憤慨します。それは各々の関心事やその程度によって異なりますが、何事に対しても、感動も憤慨も感じない人は、上下は別として私とは、次元の異なる人ですので此処では論外です。

『にこにこ通信』の発刊は、私が感動したこと(心にプラス要素を与えてくれる)を改めて強調し、憤慨したこと(心にマイナス要素を与える)を発散してくれて、私が人生をおくる上において、精神衛生上、とても役立っているのです。(そのため読者の皆様には、少なからずご迷惑をお掛けしているかも知れませんが)

即ち、私は、『にこにこ通信』の発刊により、少なからずストレスを解消させて頂いているのです。

その四、コミュニケーションへの助力

動機欄にも記しましたが、コミュニケーションを図る上では、少なからず役立っているように思います。

読者の皆様方に少しでも面白・楽しく見て頂くために、針小棒大に表現するところもありますが、おかげさまで「楽しく読んでいます」「ずっと永く続けてください」「今回の貴殿の意見には全く同感」「君はそういうが私はこう思う」などとの返信を頂き、大いに心強く思っている次第です。

また、友人・知人には勿論、仕入先に対しても、得意先に対しても、私の心からの考え方を知って頂き、求書に同封)で二百余件。仕入先へは、支払手形に同封いちいち会社の営業方針を説明しなくてもご理解頂けていて、その点とても助かっています。

一社は女子事務服メーカー「㈱セロリー」から発刊の『セロリー通信』。一社は女子作業服メーカー「㈱リミット」からの『リミットネットワーク』です。二者共、商売を通じて人の物の考え方を論じ相う内容です。総計五百部弱です。

(自社の宣伝の為ではない処に魅力を感じました)

発刊日を二十日にしたのは、二十日締め切りで請求書を送る先が圧倒的に多いからです。その請求書に同封することにより、郵便代が節約されることもさることながら、私どもからお届けする請求書を、少しでも楽しみに待って頂けないか、との思いからです。

平素、ご無沙汰している先様・定期的な訪問が途切れがちな先様・訪問の理由がない先様へ持参することにより、コミュニケーションを図る契機になればとの思いも動機のひとつです。

発刊の功徳(効用)

その一、物事に対して注意深くなりました。

なにを見ても聞いても、にこにこ通信の記事のネタにならないかと云う意識がはたらき、身近な出来事に対して今までより関心を持って接するようになったと思います。

その二、文章表現力が進歩しました。

第一号からご愛読の方はよく分かると思いますが、最初のころのものは、今、読み返してみると、あまりにも拙くて自分でも恥ずかしくなります。にこにこ通信のネタ探しの中で、いろんな勝れた文章に接するうちに、私自身が少しずつ文章での表現の仕方がうまくなったように思います。

その三、ストレス解消

人は素晴らしい物事に接して感動し、不正(正義の基準も問題ですが)に接して憤慨します。それは各々の関心事やその程度によって異なりますが、何事に対しても、感動も憤慨も感じない人は、上下は別として私とは、次元の異なる人ですので此処では論外です。

『にこにこ通信』の発刊は、私が感動したこと(心にプラス要素を与えてくれる)を改めて強調し、憤慨したこと(心にマイナス要素を与える)を発散してくれて、私が人生をおくる上において、精神衛生上、とても役立っているのです。(そのため読者の皆様には、少なからずご迷惑をお掛けしているかも知れませんが)

即ち、私は、『にこにこ通信』の発刊により、少なからずストレスを解消させて頂いているのです。

その四、コミュニケーションへの助力

動機欄にも記しましたが、コミュニケーションを図る上では、少なからず役立っているように思います。

読者の皆様方に少しでも面白・楽しく見て頂くために、針小棒大に表現するところもありますが、おかげさまで「楽しく読んでいます」「ずっと永く続けてください」「今回の貴殿の意見には全く同感」「君はそういうが私はこう思う」などとの返信を頂き、大いに心強く思っている次第です。

また、友人・知人には勿論、仕入先に対しても、得意先に対しても、私の心からの考え方を知って頂き、求書に同封)で二百余件。仕入先へは、支払手形に同封いちいち会社の営業方針を説明しなくてもご理解頂けていて、その点とても助かっています。

その五、規則正しい生活リズムへの助力

私は、趣味が多くて(ゴルフ・囲碁・将棋・麻雀・韓国語学習・中国語学習・菜園・その他)「昨日、一日何もすることが無くて困った」などと言う人のことが理解できないくらい時間がありません。そのうえ飲酒がすきですし、犬も飼っています。

毎日の朝晩の犬の散歩、週一回の中国語教室、たまに中国人・韓国人から来る手紙への返事、季節の菜園作業、旅行出張と、日常生活の外にやることがたくさんあり、ついつい、生活リズムが乱れ勝ちになります。

犬の散歩、韓国語教室、中国語教室、『にこにこ通信』発行は定期的で、ゴルフ、囲碁、将棋、麻雀、などはその間隙を利用しているわけですが、今の私にとって規則正しい生活リズムを正すのは前者、乱すのは後者です。特に飲酒は生活リズムを乱す最たるものです。

その中で、月に一度『にこにこ通信』を発行すると言う思いは、乱れ勝ちな私の生活リズムを正すのには、大いに貢献しているのです。

その他

物事が出来る背景には、いろんな要素が重なり合っているもので、私がこの『にこにこ通信』を発刊できた(今現在も継続して発刊できている)のも同様です。

例えば、印刷機の存在です。私どもの会社では、学生服などの販売のため、パンフレットや申込書などの印刷物を大量に必要とします。それでそれまで印刷屋へ出していた印刷物を印刷機を購入して、自社で作っています。もし印刷機がなくてコピー機だけなら『にこにこ通信』を発刊しようという思いにならなかったかも知れません。(ちなみに印刷機は九十五万円で購入しましたが、後は、紙代だけです＝インク・ドラム代は微々たるものです)

以上のようにこの『にこにこ通信』は、私だけのために発刊しておりまして、読者の皆様方には、ありがた迷惑な面も多々あると存じます。

にもかかわりませず、力強い声援やら貴重なご意見などを頂戴しありがとうございます。その皆様方のお声を励みに、今後とも頑張ってまいる所存です。

私としては、本百号より百二十号を大きな節目として現状を有らしめる目に見えない力(神・仏)改めて現状を有らしめる目に見えない力(神・仏)

にこにこ通信愛読者の皆様に感謝いたします。

有限会社　沖商店　代表取締役　沖昌弘
個人メール E-mail Oki2525@sirius.ocn.ne.jp
(にこにこ通信へのご意見をはじめ個人的なご連絡はこちらへください)